

勿凝学問 159

さて、社会保障国民会議のメンバーを辞めるとするか
かつての最大の関心事は年金だったが、いまは明日の天気？

2008年5月28日
慶應義塾大学 商学部
教授 権丈善一

今日の昼、ある新聞の記者さんから、「国民会議の医療介護分科会の議事録を読んでもるんですけど、国民会議の場でなんで、民間保険の導入とか医療を効率化するとかの話をしているんですか？」との問い合わせがある。まあ、いろいろと事情があつてねと、いろいろな事情を話す——この事情についてはいずれ気が向いたら文章にするかもしれない。そして、次の文章を紹介する。

- ✓ 勿凝学問 154 [この期に及んでも医療に無駄がある論の根強さの原因は？——国民会議・医療介護福祉分科会に出席しているときのメモ](#)

そして夕方、ある筋から、年金シミュレーションをやったことや、次の文章にも書いた、会議中に話した下記の言葉あたりに民主党が怒っていると伝え聞く。

- ✓ 勿凝学問 153 [年金が政争の具になった国、日本——間違えたことを信じ込まされてきた犠牲者としての日経新聞](#)

当日の会議で最後に話をしたわたくしは、ご出席いただいた三紙の論説委員に感謝した。その理由は？

1月7日の日経新聞には民主党案を批判して乗り越えようとする姿勢が感じられた。2月11日の朝日新聞も民主党案批判を念頭におきながら自社の論を組み立てていた。そして4月16日の読売新聞は 民主党の年金案を「詳細は不明 評価は困難」と正しく評価していた。

彼ら三紙は、混迷した政局の中、たたき台としての年金案を提案して、専門家の批判を仰ぎながら、日本の政局の混乱を救いたいという姿勢であった。ところが、たたき台としての彼らの年金案の方が、一国の政党が4年間も自党の最大の売りとして掲げ続けている年金案よりもはるかに良くできたものだった。この点を、わたくしは高く評価したため、彼ら三紙に心よりお礼を申し上げた。

民主党は、社会保障国民会議を民主党批判の場として用いているとしてクレームを付けているらしい。バカげている。20日の年金部会で説明したように、民主党の年金改革案は、試算しようにも制度としての実体がないのだから、試算できないお粗末なもの。試算できないものを批判するために試算するなどできるはずもなく、彼ら民主党が、彼らの年金改革案を対象としてちゃんとした議論をしてほしいのならば、年金改革案と呼べる代物を出してもらわなければならないのである。

さらには、次の文章の下記の「為政者の保身」という言葉も、ひっかかる人がいるらしい。

- ✓ 勿凝学問 158 [日経の言う「小さな税方式」を読売の記者に解説してもらおうとどうなるか——「小さな税方式」が抱える問題を解決しようとする「大きな税方式」になってしまうジレンマ](#)

「小さな税方式」が抱える固有の問題を解決しようとするならば「小さな税方式」ではなくなり「大きな税方式」になってしまうというジレンマをも視野に入れながら、税方式の実行可能性を判断するのは我々研究者や普通の生活者などではなく為政者たる政治家である。——その判断をする際に重要となるのは「為政者の保身」であるという話を、わたくしは5月19日の会議でしてきたのであるが、その詳細については、いずれ気が向いたときにでも書くでしょう。

権力を牽制し善政が生まれるのは為政者の保身あつてのこと。歴史的事実が幾度も示す当たり前のことだ。年金も医療も、首相をはじめとした為政者が、どうすれば生活者の支持を得られるかを考えてくれないと、良い政策は選択されない。医療崩壊のこの期に及んで、なお医療の効率化、これすなわちほとんどの場合医療費の抑制を意味するのであるが、そういうことを言っているのは、支持率は保たないだろう。われわれ生活者は、為政者にわれわれの希望とは異なることを実行する勇気など求めてはいない。為政者の保身——民主主義政体下で、政策の実行可能性とはどういうことなのかを考える上で、重要な概念なのである。

そして議事録の中の、民主党が年金を政争の具としたことに向けた批判とか「為政者の保身」という言葉を使ったあたりについて、どうにかならないかという相談を受ける。

その後、虎ノ門病院の小松秀樹先生との医療問題についての対談を終え、主催者と共に

食事に出かける。食事の場で、国民会議で医療はどのように論じられていますかと、今日の医療関係者の一番の関心とも見受けられる質問をされたので、議事録をしっかりと読んで下されば、どうして民間保険の話や市場原理の話が議論されているのかが分かりますかと答える。そしてその流れの中で、昼からの今日一日の話をし、「年金シミュレーションも無事に世に出たことですから、社会保障国民会議はそろそろ辞めないと、推薦してくれた人たちに悪いですね」と話をする。

1月29日に初会合が開かれたとき、終了後、ある記者がやってきて、「この会議に何を期待しますか？」と問うたから、「こういう会議には期待しない方がいいよ。みんな立場があるんだからポジショントークは避けられないだろう」と答える。そして親しい人には、「この会議のアウトプットは少なくともふたつある。ひとつはシミュレーション。いまひとつは議事録だ」と言っていた。

年金シミュレーションは、先週の月曜日に公開できた。

議事録については、先週の月、火、水に行われた各分科会で、かなり言いたいことを言い終えた——特に医療介護分科会で以前から吉川先生が問題提起されていた「私的医療費と公的医療費の意味の相違」を説明した「[政府の利用価値](#)」。唯一言い足りないことは、医療介護分科会で、「医師が21世紀医師憲章における社会正義に反することを言うのはおかしいと思うよ」と言うことを、「[政府の利用価値](#)」で使った次のパワーポイントを再度使いながら、指摘するくらいである。

新ミレニアムにおける医師憲章 ヒポクラテスの誓いの新ミレニアム版

- 2002年
- 欧米の内科4学会が共同で作成し、ランセットとアーカイブス・オブ・インターナショナル・メディシンを通じて公表したもの
- ヒポクラテスの誓いの新ミレニアム版と称されていて、そこには3つの根本原則というのが冒頭に示されている

13

Keio University
Y Kenjoh



新ミレニアムにおける医師憲章 ヒポクラテスの誓いの新ミレニアム版

- 三つの根本原則
 - 患者の利益追求
 - 医師は患者の利益を守ることを何よりも優先し、市場・社会・管理者からの圧力に屈してはならない
 - 患者の自律性
 - 医師は、患者の自己決定権を尊重し、「インフォームド・ディシジョン」が下せるように、患者をエンパワーしなければならない
 - 社会正義
 - 医師には、医療における不平等や差別を排除するために積極的に活動する社会的責任がある

14

Keio University
Y Kenjoh



ということで、社会保障国民会議でやるべきこと言うべきことはほとんど終えた。そして民主党は、年金を政争の具にしたことへのわたくしの批判にクレームをつけて、社会保障国民会議そのものを根本から批判しているということなので、あの会議はそんな意図は

まったくなく、民主党の年金戦略への批判は、ここ4年ほど彼らが年金を政争の具とし、毛針で魚を釣るような選挙戦略を行うのをみてきた僕が勝手にやって遊んでいることを示すためにも、そろそろ辞めるかと決める。

医療介護分科会で、民間保険や市場原理の導入、免責制の導入、私的医療費は増えて良いが公的医療費は抑制すべし、終末期医療を見直すべし、大胆な効率化が必要や、今後話題になるおそれのある社会保障個人会計につながりかねない医療介護の負担と給付も記録した社会保障番号の導入などなどの話が出るときに、おいおいそれはないだろうと言うのを分科会委員でないからと控えておくのも無理な話。僕は最初から、雇用年金分科会ではなく医療介護分科会に入れておくれと言っていたんだけどね。僕が年金研究者でもあることを知らない医療関係者は、なぜに僕が雇用年金分科会にいるのか不思議がっている・・・。

わたくしを推薦して下さった方々には申し訳ないけど、このまま言いたいことを言い続ければ、政局運営とかでご迷惑をおかけするかと思いますので、会議は辞めます。事務局の方々、あとはよろしく。でも、社会保障国民会議の重要なアウトプットのひとつである議事録から、民主党というような固有名詞などを抜くことはしないよ。今から3年ほど前に、「年金に対して最も大切と考えていることは、次の選挙で、年金を政争の具とした政党が得票率を落とす政治環境をつくることです¹」と書いて以来、僕の最大の関心はそこにあるんでね。

さらに、昨2007年10月14日 社会政策学会に招かれて「年金騒動の政治経済学」を報告した際の、次の様子も紹介しておく。

[「年金騒動の政治経済学」](#) 42 頁

学会報告のようす

朝9時半から夕方4時半までという信じられないほど長丁場の共通論題シンポジウム。

最後に、シンポジウムで司会の労をとって下さった玉井先生が、わたくしの「この第2次年金騒動ゆえに、医療問題や税制改革をはじめとした重要な政治案件がクラウドニング・アウトされてきた弊害は大きく、年金を政争の具としてきた民主党の罪は深い。しかしながら、今のままでは、次の選挙もその次の選挙も、そして・・・民主党が政権を獲って彼らのとった政治戦略がいかにもずるいものであったのかが白日の下にさらされるまで、年金を最大の争点とする“年金選挙”はつづくであろう」の言葉について、まずはシンポジストひとりひとりに感想を聞いて下さり、次には

¹ 「勿凝学問 41 [肥満訴訟よりも勝ち目があると思う年金未納推奨訴訟](#)」 11 頁。

参加者全員にこのことをよくご理解下さいと念を押して下さった。わたくしも、「みなさまに、この点をご理解頂けるだけで、東京から京都まで来たかいがあります」と結び、終了。

さて、明日からゼミ内登山部[九九名山会](#)が始動して学生 20 人ほどといっしょに尾瀬に合宿(?)——大学の先生ってのは、まあ、それなりに忙しい。そして目下、僕の最大の関心事は、明日の天気——心配してくれている人もいるようだけど、なんだか申し訳ないですねえ。。。 (笑)。

丁度一年前の、水芭蕉咲く尾瀬沼からのぞむ燧ヶ岳



尾瀬檜枝岐 (ひのえまた) での去年からの定宿? 翌檜より

ありがとうございます!!

しかし、これ以上はお布団が・・・ない!!

大人20名様で承りました

昨年の今頃の[ある日の翌檜](#)

今年はトーちゃんの期待に応えられます、ハイ